



春満開の中、おめでとう

学園長 小島 澄人

春休み、年度の変わり目、その準備をしているといつの間にか周りは一変しています。桜は満開、桃、いろんな果樹の花が満開、裏山のあちこちにも紫や黄色、真っ白な花が咲き乱れ春を知らせてくれました。令和4年度のスタートです。進級した子どもたち、そして初めて「人との出会いを経験する」幼稚園に入園して来る子どもたち、楽しみです。みなさん、おめでとうございます。

4月早々、日曜日、ボーイスカウトの会長をしていますが入団式の参加、雨の中きびきびした動きで行なわれましたが、幼稚園の進級式、入園式も今年度も外でのものになります。コロナの感染防止とお祝いとの兼ね合い、1年の園行事、保育もまた工夫と新たな企画を考えています。

先生方、子どもたち一人ひとりを思い浮かべながら、その準備に専念しての顔は、燃えています。新人は新人らしく、ベテランもそれに負けじと意気込んでいます。新しいスタートです。新卒の先生、60を迎える先生、みんな元気です。先生方の日々の努力、その期待の中毎日の保育の展開、保護者の皆さんと共に楽しみに応援して行きたい。

柿の実学園、玉林学園、共遊の会、3法人の教育方針は「あったかさ」を大事にしています。「人にあったかく、物にあったかく、同僚にあったかく」を先生の思いの元、子どもたちにきめ細かい関わりを行なっていきます。「見えない物が見え、聞こえないものが聞こえ、感じられないものが感じられる」、そうした思いで子どもたちに接していきます。子どもたちは見抜く天才とも言われますが、「先生大好き！」となり、「友だちだいすき！」、そして「大好きなおうちの方々にその様子がわかるよう」、頑張っていきます。お母さん、お父さん、先生たちに見守られて、いきいきした子どもたち、そんな園生活を送って欲しい、誰もが願うことです。

また1年のスタート、

よろしくお願いいたします。

